

## お話の世界を楽しみ、読み取る力の育成につなげる番組活用

神奈川県川崎市立下布田小学校 教諭 藤田 陽子

### 小学校 特別支援学級 おはなしのくに

#### 番組の特徴

日本や世界の昔話や童話・民話や名作を一流の語り手が表情豊かに読み聞かせをする番組。絵や、美しい音楽からも物語のイメージを広げることができる。

#### 研究の概要

お話の時間は新たな世界を知ったり、想像を膨らませたりする、子どもたちが楽しみにしている時間である。そうした時間の中で一人一人が読み取る力を育成していくことが重要である。質の良いお話に出会う機会を大切にしたいと考えて「おはなしのくに」を活用した本実践を行った。手立てを工夫することで、どの子ども楽しく話を聞いて、話の内容を読み取り、表現する活動へとつなげることができた。

#### 授業デザイン

活動：本の読み聞かせ活動

目標：お話を楽しむ。表現する。

課題把握

「おはなしを たのしむ」

番組視聴

第13回 王さまと九人のきょうだい

クイズ

簡単なクイズで内容をふりかえる

製作

キャラクターを選んでペープサート作りをする

動作化

ペープサートで、読み取ったお話の内容を自分の言葉で表現する

感想交流

友だちや自分の良かったところについてふりかえりをする

<追加した授業（2時間）>

2/3 読み聞かせ→製作→ペープサート（手本→表現1場面）

3/3 番組視聴→ペープサート（表現3場面）

子どもから「もっとやりたい」という要望の声が出て追加授業を実施



#### 番組や関連動画クリップの活用意図

##### みんなで楽しむための番組視聴

表情豊かな語り手の表現や挿絵イラスト、音楽などから、どの子ども場面をイメージして物語を楽しむことができる。

##### ワークシートの活用

本の読み聞かせであることへの意識づけのために、番組webページからダウンロードしたワークシートを印刷し、該当ページを示しながら視聴した。



NHKKfoeSchool web ページより

#### 授業デザインにかかわる教師の工夫

##### 授業のユニバーサルデザイン化

見通しをもって授業に参加できるように、授業の流れをパターン化している（視覚化）。また、ねらいを一つに絞って提示（焦点化）、ペープサートをすることで互いの思いを伝え合った（共有化）。

##### 番組内容をまとめたクイズ

視聴直後にお話の内容に関する簡単なクイズを出題して、内容の理解に繋がた。

##### ペープサートで動作化

聞きとった内容を楽しく表現するために、ペープサートで即興劇をした。製作が活動の中心となってしまうように、表現方法はペープサートのみ提示して、組み立てるだけでできるものを準備した。

#### 生き生きと学ぶ子どもの姿

##### 子どもの自己評価から（つぶやき）

- 「僕は水泳が好きだから、『みずくぐり』をつくろう。」  
<自分自身と関連させながらお話の世界を味わっている>
- （劇を盛り上げるために）「大きいご飯も作ろうよ。」  
<イメージをつかみ、具体的な表現に繋がようとしている>

##### 同僚の評価

- 同じものを2回視聴したことで、1回目には気づけなかったところに気づく等、読み取りが深まっていた。
- お話を印刷して視聴中に提示しておくことが、発達段階がゆっくりに児童の理解に繋がっていた。

#### 実践を終えて<行動宣言>

これまで、特別支援学級のグループ学習で「5年理科・ふしぎがいっぱい」、全体学習では「スマイル」等の番組を活用した。視覚的にも聴覚的にも分かりやすく、学習意欲の向上や学習内容の理解に繋がっている。子どもに応じた活用を模索したい。